

# 平成 29 年度事業評価シート

No.1

**PLAN(計画)**

**自己評価**

事務事業  
番号

31

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴					有
事務事業名	障がい者(児)居場所づくり						
予算科目	3 款 1 項 7 目						
予算事業名	障がい者地域生活支援事業費						
総合計画での位置づけ	高齢者・障がい者を支える						
担当課	健康福祉課	担当課長	國壽 和幸				
事業担当者	安部 千晴		一次評価者	阿部 哲也			
事業の性格	自治事務						
法令根拠等	障がい者総合支援法、久山町障がい者(児)居場所づくり事業実施要綱						
事業の対象	町内在住の身体・知的障がい者(児)						
事業の目的	障がい児・者が、町内で気軽に通所し、交流する場所をつくり、利用者の心身機能の維持及び社会的孤立感の解消を図るとともに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図る。						
実施期間	開始年度	平成 19 年度から					
	終了年度	平成 年度まで					
事業の内容	久山町社会福祉協議会に委託。月～木曜日と第2・3土曜日に障がい児・者が安心して過ごせる場づくりをすすめている。						
目的達成の指標	利用者の参加率						
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度	
	目標	%	100	100	100	100	
	実績	%	40	45			
指標設定の考え方	登録者が本来なら参加できる開催回数に対し、実際に参加している回数から参加率を割り出す。						
事業遂行時懸案事項等	利用者の体調や、他のサービスを利用することで参加できないことがある。						
事業実施時懸案事項対応等	利用者の状況を把握し、内容を見直していくとともに、保護者の交流も図っていく。						

# PLAN(計画)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 539 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.001	0.001	0.001
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	7	7	7
事業費	直接事業費	4,790	4,750	4,078
	人件費	7	7	7
	合 計	4,797	4,757	4,085
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	4,797	4,757	4,085
合 計	4,797	4,757	4,085	4,085

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	4,790	4,750	4,078	4,078	
実 績	4,436	4,750			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
開催数	回			200	200
		182	192		
参加者数	人			500	500
		344	389		

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 539 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.001	0.001	0.001
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	6	7	7
事業費	直接事業費	4,436	4,750	4,750
	人件費	6	7	7
	合 計	4,442	4,757	4,757
財源内訳	国庫支出金	1,755	0	
	県支出金	877	0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	1,810	4,757	4,757
合 計	4,442	4,757	4,757	

## 実施備忘録

# CHECK(評価)

自己評価	評価者	安部 千晴
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	C
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	3	C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	C
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

## 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

障がいを持つ方が安心して過ごせる場であり、また家族等の連携を築く場づくりにもなっているため、事業は今後も必要である。

## 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

新規利用者の検討が必要である。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	阿部 哲也
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定	
1. そもそも必要な事業か？	2 3 3 3	C	
2. 町が実施する必要があるか？	3 3 3		C
3. 実施内容は適切か？			
①有効性	3 3 3		
②効率性	3 3 3	C	
③公平性・透明性	3 3 3		

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

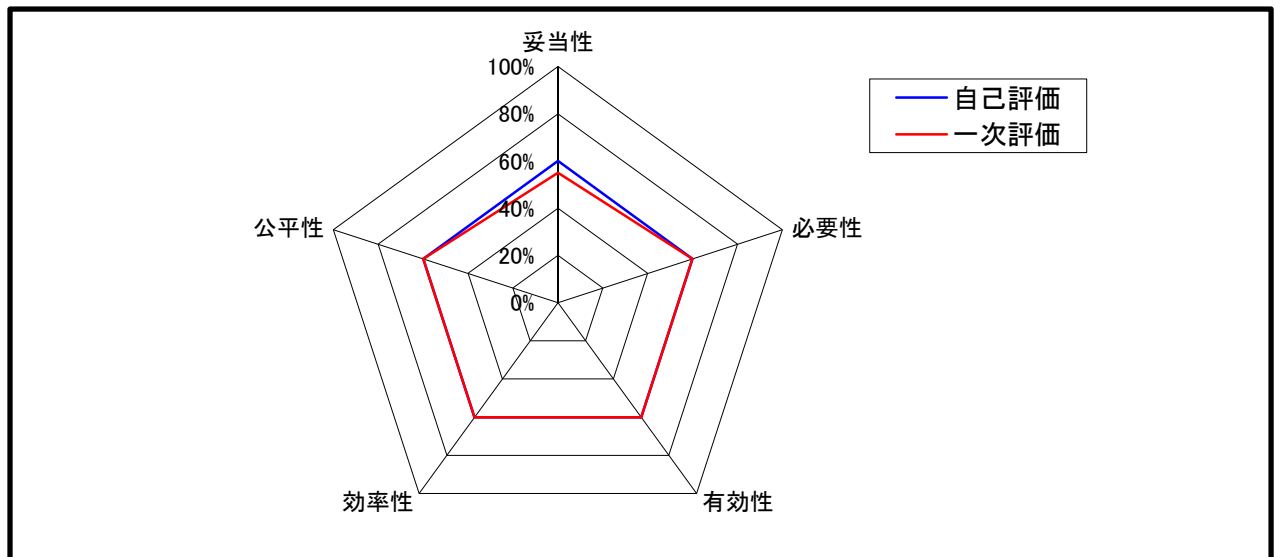


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

### 一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

身体・知的障がい者(児)の居場所づくり、送迎の事業であり、町民全体からのニーズを考えると決して高いとはいえないが、障がいを持つ方が安心して過ごせる交流の場となっている。またその家族の連携を築く場にもなっており、今後も継続すべきと考える。  
 ただ、登録者、利用者が数年変わっておらず、新しく利用される方へのアプローチを社会福祉協議会と検討し、進めていく必要がある。

### 自己評価・一次評価の傾向



# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	國崎 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

社会福祉協議会・障がい者(児)の会などと情報交換を行い、必要としている人達に情報の発信を行っていく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

## 事務事業の改善案

手段	
内容	

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

## 外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

## 外部評価委員の意見

--

## 経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

## 経営者会議の評価

--